

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和3年度「カスング県カピチラ・ヘルスセンター建設計画」
起工式

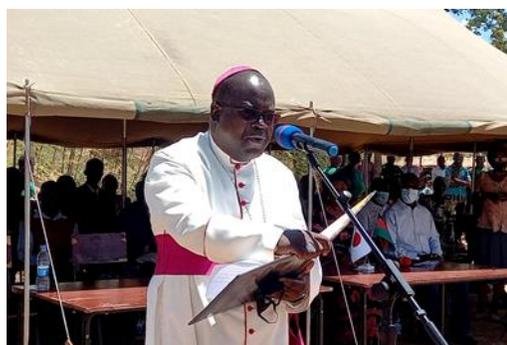
2021年12月14日



池田次席、ウィリマ教育副大臣、リロングウェ大司教区代表タンバラ司教による定礎の様様



スピーチを行う池田次席（左）とウィリマ教育副大臣・地元選出国會議員（右）



(左) スピーチを行う被供与団体リロングウェ大司教区代表タンバラ司教
(右) 日本への感謝の歌を唄うウィリマ教育副大臣・地元選出国會議員とカピチラ地区住民



(左) 地域女性グループによる踊り



(右) 集合写真

2021年12月14日、カスング県カピチラ地区において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「カスング県カピチラ・ヘルスセンター建設計画」の起工式が行われました。本プロジェクトでは、日本政府がリロングウェ大司教区マラウイ・カトリック開発委員会に対し供与した91,124米ドルを上限とする資金で、同地域に同地域に適切な産科・母子医療および一般外来医療サービスに対応するヘルスセンターを新たに建設します。これにより、医療施設へのアクセスに困窮する妊産婦が適切な産科施設で安全に出産できるようになります。

式典では、池田次席が草の根事業の地方での裨益効果の高さを述べ、2021年だけでも、大使館はリロングウェ県に校舎2棟、カロンガ県に校舎2棟、チェウ県に産婦人科病棟1棟、マンゴチ県に小児科病棟1棟を建設し、チクワワ県でヘルスセンターが完成間近であることを紹介しました。

最後に池田次席は、地域住民に対してこのヘルスセンターの積極的な活用と丁寧な管理を要請し、このプロジェクトを成功させようと呼びかけました。